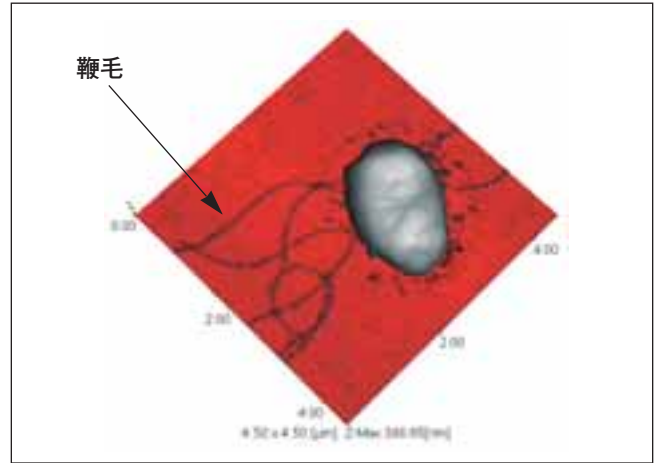
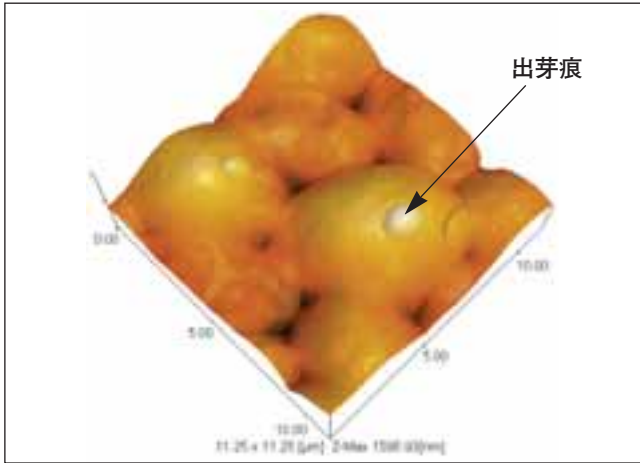


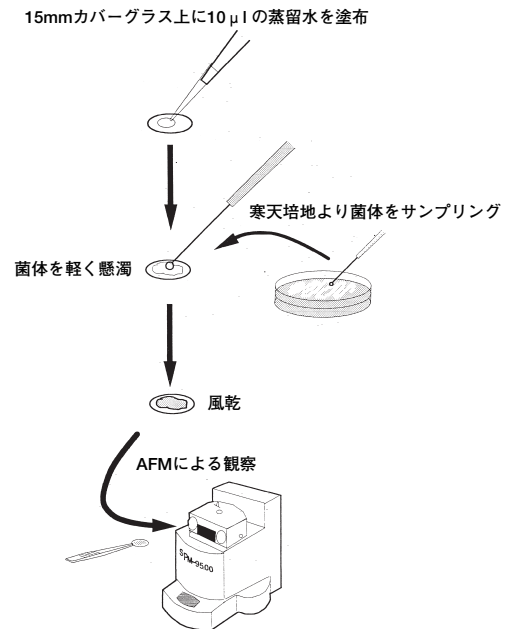
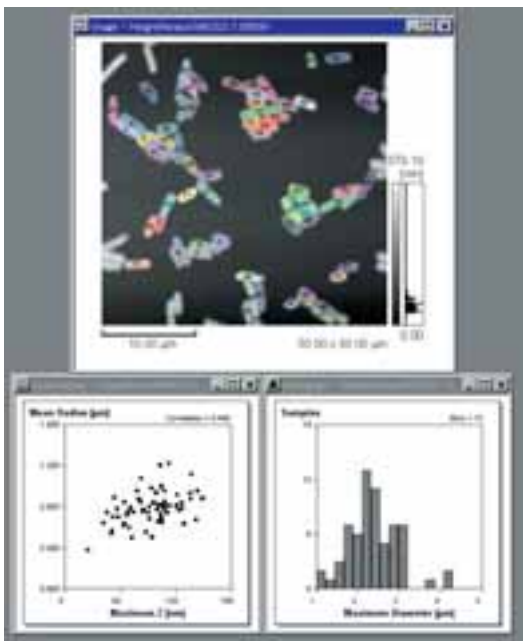
食品業界への応用例



左上図はビール酵母（倍率 約4000倍）、右上図は細菌（倍率 約10000倍）です。SPM（走査型プローブ顕微鏡）により、右下図のような簡単な試料調製だけで、無蒸着で大気中観察が可能です。特に酵母菌の出芽痕 (bud scar) や細菌の鞭毛（太さ 約20nm）が確認できることはSPMの驚異的な分解能を示しています。

また、粒子解析ソフトウェアを用いることにより、左下図のように菌体の抽出、統計処理が可能となり、菌種同定の手がかりが得られます。

ビール、乳製品、醗酵食品など微生物を扱う業界の製造管理、研究開発用に光学顕微鏡や電子顕微鏡では得られないデータを提供します。



微生物観察における原子間力顕微鏡用試料の作成方法

島津製作所 分析計測事業部

- 営業 ●東京 (03)3219-5721 ●関西 (06)6373-6528 ●札幌 (011)205-5500 ●東北 (022)221-6231 ●つくば (0298)51-8515
●北関東 (048)646-0081 ●横浜 (045)311-4154 ●静岡 (054)272-5600 ●名古屋 (052)565-7611 ●京都 (075)811-8151
●神戸 (078)331-9665 ●岡山 (086)221-2511 ●四国 (087)834-3031 ●広島 (082)248-4312 ●九州 (092)283-3335

データのお問い合わせ先 (株)島津総合分析試験センター(AMC) TEL (0463)88-8680